

委16-4

第7回ロケット打上げ 実験計画書

(昭和48年2月期)

昭和47年12月

宇宙開発事業団

第7回ロケット打上げ実験計画

第7回ロケット打上げ実験計画の概要は、次のとおりである。

1. 打上げ実施機関

宇宙開発事業団

東京都港区浜松町2丁目4番 1号

世界貿易センタービル

理事長 島 秀 雄

2. 打上げ場所

宇宙開発事業団種子島宇宙センター

鹿児島県熊毛郡南種子町大字茎永字宇津

東 経 130° 57' 55"

北 緯 30° 22' 20"

3. 打上げ期間

昭和48年2月5日から2月13日まで(9日間)

4. 打上げ実施責任者

副理事長 松 浦 陽 恵

5. ロケットの機種および機数

MT-135P型ロケットT-5、6号機およびJCR型ロケット8号機の計3機である。

6. 打上げの目的

(1) MT-135P型ロケットT-5、6号機

MT-135P型ロケットは、人工衛星打上げにあたって必要な上層の気象データを取得するための1段式固体ロケットである。今回は、種子島上空の風向、風速および気温の観測を行なう。

(2) JCR型ロケット8号機

JCR型ロケットは、人工衛星打上げ用ロケットに用いる誘導制御技術を開発するための2段式固体ロケットである。

今回は、第2段にガスジェット制御装置を搭載して制御試験を行ない、その制御特性等の確認を行なうとともに、Nロケット搭載用のPCM-PMテレメータ装置、Sバンドコマンド受信機および新たに開発したCバンドレーダトランスポンダを搭載し、対応する地上設備との電波試験を行ない、それらの機能・性能の確認を行なう。

7. 打上げ予定日時

機種	打上げ予定日	海面落下時間帯	延期する場合の期間および海面落下時間帯
MT-135P型T-5号機	2月5日(月)	10:30~11:00	2月5日(月)~2月13日(火) 15:30~16:00 10:30~11:00
JCR型8号機	2月6日(火)	15:30~16:00	2月7日(水)~2月13日(火) 10:30~11:00 15:30~16:00
MT-135P型T-6号機	2月7日(水)	10:30~11:00	2月7日(水)~2月13日(火) 15:30~16:00 10:30~11:00

打上げ予定日時に天候その他の理由により打上げができないときは、「延期する場合の期間および海面落下時間帯」欄の範囲内で延期する。

なお、この場合他機種のロケットを同一日に打ち上げることはない。

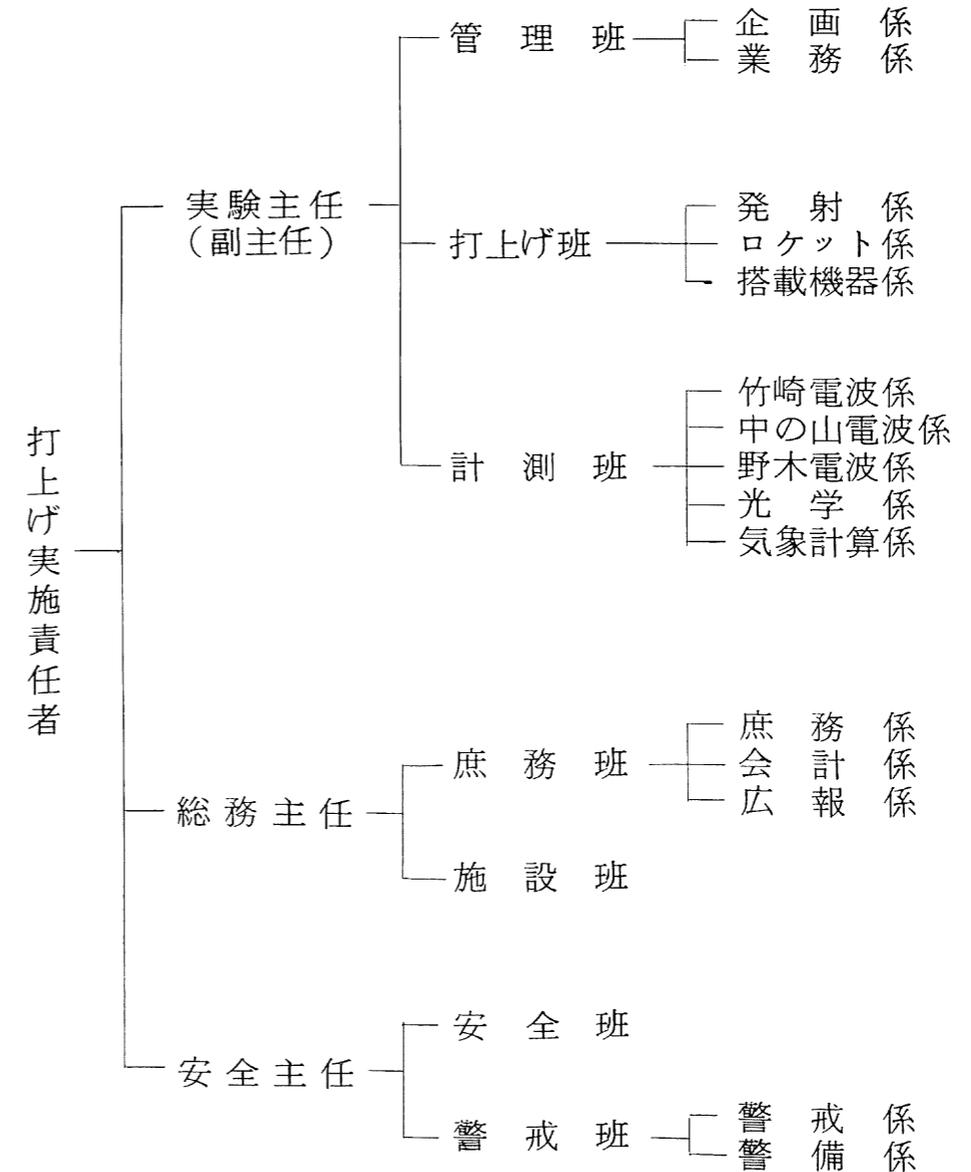
8. 通 知

次の要領で通知を行なう

- (1) ロケット打上げの実施または中止等は打上げ予定日の前日15時までに決定し、すみやかに通知する。
- (2) 打上げを実施する旨通知した場合であっても当日になって天候その他の理由により、打上げを中止することがある。
この場合、すみやかにその旨を通知する。
- (3) ロケットの打上げが終了した場合は、すみやかにその旨を通知する。
- (4) 通知は別紙に示す電話回線（場合によっては電報）による連絡のほか、ラジオ（NHK鹿児島放送局、南日本放送、宮崎放送および大分放送）による放送を行なう。
また、漁業無線局を通じて、漁船に対し無線放送を行なう。

9. 打上げ組織

打上げの組織については、下表に示すとおりである。



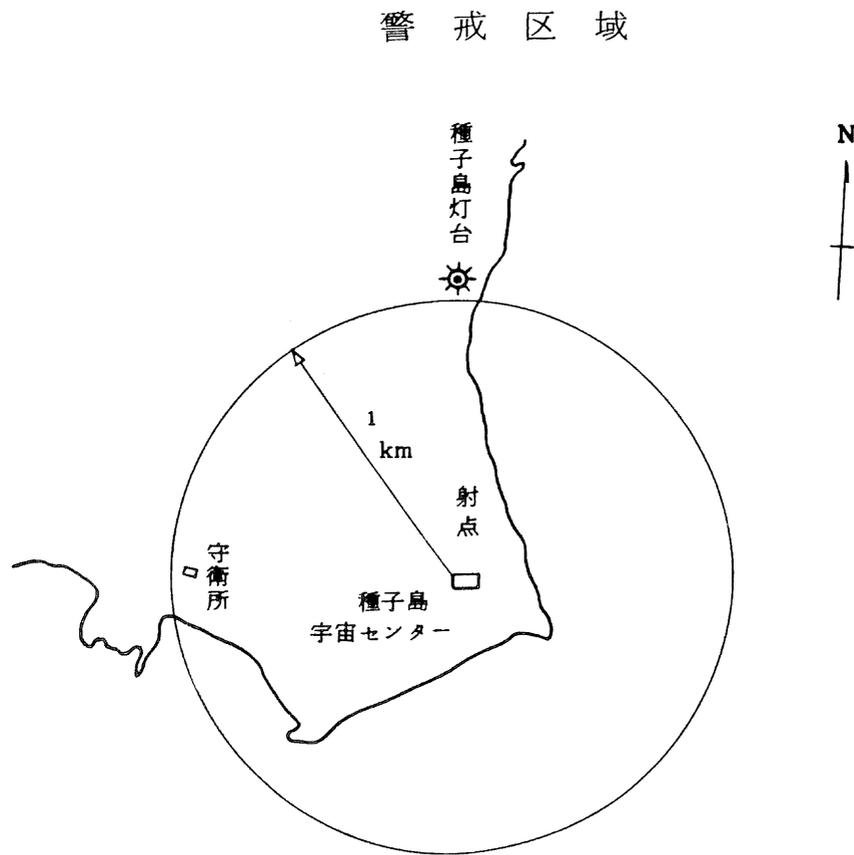
10. 安全

安全確保を図るため、次の要領により警戒を行なう。

(1) 警戒の範囲

ア. 射場および沿岸警戒区域を下図に示す。

- イ. 海上については、ロケット落下予想区域として別図に示す。



射点を中心とし、半径1 Km 以内を警戒区域とする。

(2) 陸上の警戒

射場付近の陸上の警戒については、鹿児島県警察本部に依頼する。

射場内の警戒については宇宙開発事業団があたり、打上げ当日は、警戒区域内に一般の人が立ち入らないよう立札等に表示する。

なお、ロケット等の輸送にあたっては別途輸送計画書にしたがって安全の確保に留意しつつ実施し、種子島島内の警戒については鹿児島県警察本部に依頼する。

(3) 海上の警戒

海上のロケット落下予想区域の警戒については、第十管区海上保安本部および鹿児島県に依頼する。また第十管区海上保安本部鹿児島海上保安部に、宇宙開発事業団から連絡員を派遣し射場との間の専用回線によって緊密な連絡にあたる。

射場付近の沿岸の警戒については宇宙開発事業団があたる。

(4) 航空機に対する警戒

航空機に対する警戒については、大阪航空局鹿児島空港事務所および大阪航空局種子島空港出張所に依頼する。また大阪航空局種子島空港出張所に、宇宙開発事業団から連絡員を派遣し、射場との間の専用回線によって緊密な連絡にあたる。

(5) 射場における警戒表示方法

ア 打上げ当日は射場内に黄旗を掲げる。

イ 打上げ30分前に赤旗を掲げる。

ウ 打上げ2分前に花火を1発あげる。

エ 打上げ終了後は花火を2発あげるとともに、赤旗をおろす。

オ 緊急事態発生の際は、サイレンを断続的に吹鳴する。これを解除する際はサイレンを15秒間吹鳴する。

11. リハーサル（予行演習）

JCR型ロケット8号機について、2月4日（日）に実施する。なお、天候その他の理由により、予定を変更することがある。

12. 報道関係

- (1) 報道関係者には安全確保に留意しつつロケットおよび射場内の施設・設備を公開し取材の便宜を図る。
- (2) ロケット打上げの結果については、打上げ終了後、実験主任から概略の発表を行なう。

13. ロケットの性能および諸元

諸元	機種 MT-135P型 T-5, 6号機	JCR型8号機	
		第1段	第2段
形式	固体	固体	固体
全長 (mm)	3329	10485	
		5463	5022
外径 (mm)	135	506	420
全重量 (ton)	0.07	2.23	
推進重量 (kg)	375	950	321
平均推力 (ton)	0.8	1.0	5.5
燃焼秒時 (sec)	10.5	21.7	18
発射高度角 (°)	80	75	
発射方位角 (°)	90	90	
到達高度 (km)	56	31	145
水平飛しょう距離 (km)	46	38	336
搭載機器	テレメータトランスポンダ 温度計	コマンド受信装置、レーダトランスポンダ、テレメータ送信装置、ジャイロ機器、ガスジェット制御装置、制御電子機器	

別紙

実験隊
管理班業務係
(種子島)

- 鹿兒島地方気象台予報課
- " 高層課
- 海上自衛隊鹿屋基地
- 鹿兒島県警本部外勤課
- " 企画部企画課
- " 水産商工部漁政課
- NHK鹿兒島放送局
- 南日本放送
- 共同通信鹿兒島支局
- 時事通信 "
- 読売新聞 "
- 鹿兒島旅客船協会
- " 貨物船海運組合
- 鹿兒島県漁業協同組合連合会
- " 指導漁業協同組合連合会
- 串木野漁業協同組合
- " 島平 "
- 鹿屋市 "
- 西桜島村 "
- 鹿兒島県旋網 "
- 東串良町 "
- 指宿市 "
- " 岩本 "
- 開聞町漁業協同組合
- 出水市 "
- 市来町 "
- 東市来町 "
- 十島村 "
- 種子島測候所
- " 灯台
- " 警察署
- " 上中駐在所
- 熊毛支庁
- 西之表市
- 中種子町
- 南種子町
- 種子島電報電話局
- 九州電力熊毛営業所
- " 南種子営業所
- 熊毛記者クラブ
- 南種子町漁業協同組合
- 中種子町 "
- 西之表市 "
- 中種子町漁協熊野支所
- 中種子町漁協屋久津支所
- 南種子町漁協竹崎支所
- 南種子町漁協浜田支所
- 南種子町漁協広田支所
- 西之表市漁協住吉支所
- 西之表市漁協浦田湊支所
- 西之表市漁協東海支所
- 中種子町漁協浜津脇支所

実験隊
管理班業務係
(東京)

- 東京航空交通管制部
- 福岡航空交通管制部
- 東京空港事務所情報課
- 東京大学宇宙航空研究所
- 宮崎県経済部水産課
- 大分県林業水産部漁政課
- 広島県農政部水産課
- 愛媛県農林水産部水産課
- 高知県水産商工部水産課
- 宮崎放送
- 大分放送
- 宮崎県漁業協同組合連合会
- 大分県指導漁業協同組合連合会
- 広島県漁業協同組合連合会
- 高知県 "
- 愛媛県 "
- 日本カツオ・マグロ "
- 日本西海漁業協同組合
- 大分県無線漁業協同組合
- 八西漁業無線局
- 深浦 "
- 須崎無線協同組合
- 室戸漁業無線局
- 土佐清水無線漁業協同組合
- 松戸中央無線局
- 油津漁業無線局
- 富島漁業協同組合
- 青島 "
- 折生迫 "
- 内海 "
- 油津 "
- 大堂津 "
- 南郷 "
- 栄松 "
- 外浦 "
- 串間市東漁協市木支所
- 串間市東漁業協同組合
- 串間市東漁協宇津支所
- 串間市漁協本城支所
- 串間市漁協金谷支所
- 串間市漁業協同組合

==== 専用電話

—— 加入電話